

学校管理者は、演説會に於ける司會者の如く、學校の行進に対して全責任を負ひ、生徒を監督し、教師を統制し、學校を統一する。統一ある運動ならしめなければならぬ。この任務遂行の爲には、無論、彼にそれ相當の権限を附與されることを要する。例へば、彼は、彼の意見に依つて、教師が自分の講義の内容に制肘を加へられざることを、また、それらに不服を言はざらざることを要する。

相當永い學期を持つ學校ならば、生徒の多き委員會を組織せしめ、それをして、學校の管理体たらしめることが最良の方法である。

未組織學生は、卒業と同時に、組合に組織せられねばならぬ。若し組合に組織し得ざる立場にある學生ならば、校友會或はその他何等かの組織に結合せしめ、決して籠から鳥を放たなからしめ、學校から飛が去るにまかせてはならぬ。

學校の科外講義として、時局問題に精通せるもの、講義家は現時勃発中の争議の批判等を直接關係者から聽かせることは、單にそれ自身に於て有益であるばかりでなく、學生の興味を新鮮ならしめて全般の引き締めとなる。

また、実習科目の意味に於て、争議の應援、ピラ撒き、ポスター貼り

演説會出演、出版物編輯手傳、見學等に生徒を動員することは必要である。

ロ、少年團學校 労働組合に於て少年團の組織を持つ場合には、少年が爲の學校を開設すべきである。この學校の科目は普通尋常高等小學校の科目をプロレタリアの立場から焼き直したものでなければならぬ。また、少年は政治問題を理解しないと云ふのはブルジョア教育觀念だ。恰も忠孝の道を普通幼稚園でも教へる如くに、階級闘争理論をドシ／＼少年に教へ込むべきである。

少年は集團的行動に慣れ易い。若年々内から階級的集團行動に習慣づけることは、吾等が運動の將來の爲め量り知るべからざる利益をあらう。

ハ、講習會 これは短期の學校である。或る便宜なる時期を見計つて組織及び未組織労働者の爲め、経済、社會、政治上の一般的習識を速成的に授けらるべきの目的である。科目は大体労働學校のものに上り、時には、二三特定の科目について講習を開くのも有効である。その場合は、普通労働學校に於けるよりも深く専門的研究に立ち入ることが出来る。

ニ、講演會 これは一回を以て終る所のものであつて、主として時事問題（例へば、世界恐慌、産業合理化等々）に關して、一般大衆の理解を深めるのが